



4月21日(月)より 「まんかいメディカルクリニック」 が開院いたします

"地域医療をもっと魅力的に"をモットーに、2025年4月21日より当院はまんかいメディカルクリニックと名称を変更。1階は内科、小児科、救急搬送、呼吸器内科、在宅医療、2階は形成外科、皮膚科、美容皮膚科の総合医療クリニックへと生まれ変わることになりました。これまで以上に地域医療に貢献するべく、ケガなども含めた様々な疾患に対応できる診療体制を構築。通院困難な患者さまにもご利用いただけるよう、「外来」「搬送」「在宅医療」に力を入れていく所存です。

2025
春号
(第20号)



まんかいメディカルクリニック
診療科長
林 卓郎(はやし たくろう)

救急科専門医
臨床研修指導医
総括DMAT
PALSインストラクター
JATECインストラクター
所属学会：日本小児救急医学会代議員

2001年大阪医大卒。同年より神戸市立中央市民病院(2007年より神戸市立医療センター中央市民病院に名称変更)で内科初期研修後、救急科専攻医として勤務。以降2016年まで救急科スタッフとして勤務。2016年から兵庫県立こども病院救急科で勤務。趣味はスポーツと読書。走ることから久しく遠ざかっているが、現在もスイミングを続けている。

皆さま、はじめまして。
この度スタートするまんかいメディカルクリニックで勤務いたします。林卓郎と申します。私は医師になつてから25年間、救急医としてほとんどの時間を病院で働いてまいりました。私の医師としての原風景は「まちいしゃ」ですが、なかなか地域の医療に専念する機会がありませんでした。今回、縁あって青山会の一員となることができました。今後は年齢、ケガや病気などの原因・状態に関係なく、困った時には受診していただける医療機関として、少しでも地域の皆さまのお役に立てばと考えております。地域で可能な部分は地域で、無理せず安全に完結できるよう努力したいと思っております。これはまんかいメディカルクリニックの存在意義であるとも考えております。もちろん患者さまやご家族の皆さまと相談しながら最良の方法を検討していきますが、

温故知新
昭和13年からの長い歴史ある田場医院が2025年にまんかいメディカルクリニックとして新たな歴史を刻むことになりました。名前が変わり部門も増設しますが、子どもをはじめとして地域の皆さまの役に立つ意識込みと地域を守る覚悟は、最も大切な基本理念としてこれからも変わらず守っていきます。我が国の直近の課題である人口減少は、ここ北摂北神地域でも直面している重要な問題です。残念ながら今後医療の集約化は避けられない事実です。ただその

Pay it forward
受けた恩を地域へ、未来へ
少し古い映画の題名です。先日たまたま改めて観る機会がありました。内容はさておき、私の心に刺さったのはこの言葉そのものでした。日本語で「恩送り」と訳されることが多いのですが、敢えて英語の「前」に向かってハトンを渡す「ギャンス」を強調したいと思えます。今まで救急医として色々と学びと気付きを与えてくださった患者さまや先達へ直接恩を返すことももちろんながら、これからはこの経験や知恵を地域の皆さまに少しでも役立つことで、今までの恩を返すこととして未来へ送るべきではないかと考えております。未来へ恩を送るためのひとつの方策として、まんかいメディカルクリニックでは医療者の教育も重視しております。まんかいメディカルクリニックが少しでも北摂北神地域の皆さまのお役に立ちます。皆さまから「推して」いただけるクリニックとなることを目指し、スタッフ一同チームとして一生懸命頑張りたいと思っております。是非ともよろしくお願いたします！

日祝も対応の総合診療クリニックへと生まれ変わります



まんかいメディカルクリニック
Mankind Medical Clinic

2025年
4月21日(月)
開院

内覧会のご案内

4/20 日 10:00~16:00

院内見学 / 参加費無料イベント開催

1F 診療内容

- 内科
- 小児科
- 呼吸器内科
- 発熱
- 救急対応
- 生活習慣病
- けが・打身
- 発達障害
- 在宅医療

楽しく救急医療体験!

- 救急車の展示 **注目!!**
今回特別に当施設で救急車の展示を行います。救急車の中はどうなっているのか是非その目でご確認ください。
- 一次救命処置を学ぶ
心臓マッサージ体験やAED対応などぜひご家族で体験してみてください。
- バッテリーカー乗車
お子さまを対象に救急車、消防車のバッテリーカー乗車も予定しております。

楽しく体力測定会

- InBodyによる体組成診断
- スクワットチャレンジ
6分間のウォーキングチャレンジ/ミニゲーム。

ドラッグストア「コスモス」 ● サンプル配布

2F 診療内容

- 形成外科
- 皮膚科
- 美容皮膚科

美容診断 各先着15名様

- 美容施術カウンセリング
様々な疑問やご相談、お悩みに応じた施術をスタッフが説明いたします。
- 肌診断
re-Beau2による画像診断でお肌の奥に潜んだシミをチェック!
- カラー診断
ブルベ、イエベなど自分に合う色を見つけ、普段のメイクやコーデの参考に!

サンプル配布

お悩みに応じた当院で取り扱い中の日焼け止めや基礎化粧品・新製品等のサンプルをお配りしております。
※なくなり次第終了となります。

[協賛] アクセーヌ株式会社

「ゼオスキンが変えた私の肌と人生」

—ニキビ肌の苦悩から、美しい肌への道—

これまでの治療は「ニキビ跡を消すこと」にフォーカスしていましたが、「ニキビができてにくい肌をつくること」に重点を置いたものへと切り替えた、この違いこそが私の肌を根本から変えた理由だと感じています。

- ・皮脂が減りニキビがでにくくなった
- ・肌が柔らかくなり健康的なターンオーバーを実感
- ・シミや色素沈着が改善し肌のトーンが明るくなった

次々といちごごこの状態でした。レーザー治療を続けることで肌が弱くなっていることを実感し、方向転換を決意しました。そこで出会ったのがゼオスキン。肌の土台を整えることが最も大切だと学び田場医院で治療を開始しました。ゼオスキンで「人生が変わった」今まで受けたどの治療よりも効果を実感したと言えるほど、ゼオスキンは私の肌を根本から変えてくれました。



看護師 松本
自身の肌悩み、ゼオスキンと出会ったことをきっかけにスキンケアのゼオスキン担当として、患者さま一人ひとりのお悩みに向き合い、美しい肌へと導くお手伝いをしていきます。当院での勤務歴は3年以上で、温かく誠実な対応には「話すだけで前向きになれる」と多くの患者さまから信頼の声が寄せられています。

小学生の頃からニキビに悩み、皮膚科での治療も試しましたが当時は新しい薬がなく、イオウ系の治療のみ。ニキビは治っても跡が残り、その繰り返しにずっと悩んでいました。20歳になり美容クリニックへ通い始めピーリング・レーザー治療・フォトシリング・トニングなどあらゆる施術を試しましたが、一時的な改善にとどまり、新しいニキビが

オバジ博士が日本に!

先日、大阪で開催されたゼオスキンの勉強会でゼオスキンを生み出したオバジ博士の講演を直接聞ける機会がありました。お顔を拝見して驚いたのはオバジ博士のご自身の肌です。現在82歳ですが、その肌はまるで50代のようなハリとツヤ。もちろん、年齢的な影響で長時間立ち続けるのは難しいご様子もありましたが、肌の美しさだけを見れば年齢を感じさせない若々しさです。彼自身がゼオスキンの最良の証明者であることを、改めて実感しました。「私の言う通りにすれば、肌は必ず良くなる」という博士の言葉には自信と確信があふれていました。特に「慢性炎症を打破するためには、一度急性炎症を起こし新しい肌を生み出すことが必要」という理論が印象的でした。ゼオスキンの治療プロセスで一時的に赤みや皮むけが

起こるのは、その先に健やかな肌の再生があるからなのです。ゼオスキンの未来とこれからのスキンケア、今回の勉強会を通じてオバジ博士のゼオスキンに対する想いを改めて実感しました。4月にはゼオスキンの新しい施策や製品が登場する予定とのこと。「次はどんな進化が待っているのか?」とワクワクする気持ちでいっぱいです。現在、私はゼオスキンのカウンセラーを担当し患者さまの悩みに寄り添いながら、最適なスキンケアを提案しています。今回の発表会で感じたオバジ博士の熱い想いと、新しいゼオスキンの可能性を今後も患者さまへ伝え続け、より良いスキンケアの提案に活かしていきたいと思えます。



ZO® Skin Health (ゼオスキンヘルス)

ZO SKIN HEALTH(ゼオスキンヘルス)は、アメリカの皮膚科医ゼイン・オバジ(Dr. Zein Obagi)によって2007年に創設されたスキンケアブランドです。科学的根拠に基づき、肌の健康を根本から改善することを目的としています。日本には2013年に上陸し、2023年に10周年を迎えました。レチノール(ビタミンA)やハイドロキノンなどの成分を高濃度で配合し、肌のターンオーバーを促進することでシミ・くすみ・ニキビ・小じわなどの肌トラブルを改善し、健康的な肌へ導きます。当院では医師の診断のもと定期的に診察を行いながらプログラムを進めておりますので、ご興味のある方はご相談ください。



これまでの田場医院の歴史とごあいさつ

田場医院 改め まんかいメディカルクリニックです!

— みんなで支える地域医療へ —

2025年4月、「田場医院」は「まんかいメディカルクリニック」として新たにスタートします。これまで内科・小児科・生活習慣病・形成外科・皮膚科・美容皮膚科・在宅診療を行ってまいりましたが、今回の改名を機に土・日・祝日も対応できる診療科を新設し、より幅広い医療を提供します。

名前に込めた想い

今回の改名には、「地域をみんなで支える医療機関にしたい」という強い想いが基になっています。これまでの「田場医院」は「田場先生のクリニック」というイメージが強かったかもしれませんが、しかし今では多くの医師が集まり、それぞれの専門性を活かしながら、三田という地域をより安全で過ごしやすい場所にしてようとして取り組んでいます。クリニックは地域の方々「まんかいな人生」を送る



院長 田場 史子 (たば ふみこ)



今回、まんかい施設の1階部分にCTを完備した新診療科を増設します。これまで

新たに加わる診療科

当院の歴史は1988年、旧三田町で小児科医療が求められたことに始まり、1939年、現理事長の祖父・田場次が「田場小児科院」を開設し、その後約90年にわたり地域医療に貢献してきました。2018年には田場医院と名称を変更し「まんかい」内にクリニックを開院。そして今年4月、「まんかいメディカルクリニック」としてより多くの患者さまを支えられる体制を整えます。

歴史を受け継ぎ、次の時代へ

お手伝いをする場所であるということ、が伝わる名前に生まれ変わりました。



当院では、土曜・祝日の急な体調不良やケガへの対応が難しい場面もありましたが、今後はより迅速な診療体制を整え、「何かあったときにまず相談できるクリニック」を目指します。もちろん平日の診療時間内であれば、急なケガについては、従来通り形成外科専門医である田場史子医師ができる限り対応します。手術が必要な切り傷や擦り傷やけどなども含めご相談ください。

「まんかいメディカルクリニック」が地域に根ざし、より多くの人の健康を守る存在となるよう、スタッフ一同尽力して参ります。

田場医院の進化系「まんかいメディカルクリニック」を今後ともよろしくお願いたします。

形成外科・皮膚科・美容皮膚科(2F)

診療時間変更のお知らせ

予約システムが刷新されます

予約システム変更に伴い、これまで利用いただいた方も新たにご利用登録が必要となりますので、あらかじめご了承ください。

内科(1F)にて、土日祝の急なケガ・打身にも対応いたします

下記診療時間外の場合には内科(1F)にてご対応させていただきます。内科の順番予約をお取りのうえご来院ください。

時間	月	火	水	木	金	土
9:00~13:00	●	●	●	●	●	●
手術・処置 13:00~15:00	○	○	○	○	○	△
15:00~18:00	●	●	△	●	●	△

※診療は田場史子医師が担当しております



4月21日(月)より日祝も診療いたします

内科・呼吸器内科

救急搬送

NEW

けが・打身

在宅医療

小児科

発熱外来

生活習慣病
(さんだ生活習慣病プログラム)

発達障害

2040年問題以降を見据えており、それにもかかわらず、地域医療は早くも

「Hospitals are overwhelmed.」 「救急外来逼迫」 「搬送の応需先が見つからない」

「出航」

われわれは皆、DNAに何らかの病気の

●元氣な方を、もっと元氣に

●高齢者の地域救急民営化

●元氣な方を、もっと元氣に

小児救急に至っては、もともと既存の資

時計の針は進んでも、多くの市民は何ら



まんかいメディカルクリニック
Mankind Medical Clinic

4月21日(月)より
「まんかいメディカルクリニック」
が開院いたします

田場医院(内科・小児科)が新しく生まれ変わります

4月20日(日) 10時より 内覧会実施(詳しくは裏表紙へ)

月~金 9:00~20:00

土日祝 9:00~17:00

※火曜休診(祝日の場合は診療、別日が休診となります)



LINEで診療予約もできます

ID @000tqgki

ID検索またはQRコードよりご登録ください。

Table with columns for days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土, 日) and rows for medical services (内科・小児科, 呼吸器内科, 在宅医療). Includes doctor names and availability times.

(注1) 平日は原則 9:00~12:00 / 17:00~19:00 までの診療となります。

※祝日は9:00~17:00までの診療となります。

統括主任 増田 安奈(ますだ あんな)



私が田場医院に入職して、早いもので3年目に突入しようとしています。

三田市にお住まいの方は、特に夜間や休日の病院選びにはお悩み

また、どの世代の方々も安心して医療を受けられるよう、患者さま

三田市の皆様はもちろん、三田市近郊の皆様のお役に立てるこ



「在宅医療」について

医師 今井 啓登(いまい ひろと)

従来、医療行為を受けるには医療機関に赴く「外来診療」が一般的でした。近年、通院することなく自宅で診療を受けられる「在宅診療」が普及してきています。通院の難しい高齢者や付き添うご家族にとって「在宅診療」は負担を減らしてくれる診療方法です。

以前は「在宅医療」「在宅診療」「往診」「訪問診療」などの言葉の違いを説明できませんでした。当院で勤務して半年が過ぎ、ようやく理解できてきたかなと思うのですが、それでもまだ上手く説明できるか自信がありません。

医師が行う在宅診療には「往診」と「訪問診療」の2種類に分類することができます。どちらも医師や医療関係者がご自宅に訪れて医療行為を行います。

「往診」とは(救急車を呼ぶほどではないが)身体に急変などの事態が起こった時に患者さまから要請を受けて、医師がご自宅に訪問します。一方で「訪問診療」は通院が困難な患者さまに対して、医師があらかじめ診療の計画を立て、患者さまやご家族の同意を得た上で、月に1回から2回程度訪問します。定期的にご自宅に訪問し診療や治療、健康相談を行います。

患者さまがご自宅で身体が悪くなり、外来診療する代わりに訪問して“点”で診療するのが「往診」。ご自宅で療養している方をまるで入院患者さまの主治医のように“線”で診るのが「訪問診療」です。

医師の診療だけでなく訪問看護や訪問リハビリテーションや訪問薬剤師、訪問栄養指導などのサービスもご自宅で受けられます。ご自宅でまるで入院しているように多角的包括的に診てもらえて、急変した場合も緊急訪問や電話相談、入院手配など24時間体制で対応しています。

「在宅医療」とはご自宅で療養している方を多方面から“面”で支える医療です。

地域全体で医療・介護・福祉が連携してご自宅で支援する体制が整ってきており、高齢化社会である日本において「在宅医療」のニーズはこれからますます高まっていくと思われます。



私たちがご自宅までお伺いします



佐藤 早貴(さとう さき)

10月から訪問診療の看護師として、医師と一緒にご自宅に訪問させていただいています。お困りごと・心配ごとがあれば何でもお声がけください。

趣味 サッカー観戦



有方 千紗(ありかた ちさ)

こんにちは。笑うと目がなくなる有方千紗です。ご自宅で不安なく過ごせるようお手伝いをさせていただきますので、お困りごとなどありましたらお気軽に相談ください。

趣味 ドライブ



食べることは生きること

医師 廣田 篤史(ひろた あつし)

2025年2月、「食べることは生きること」をテーマにした「さんだ在宅スキルアップ研修会」に参加しました。年に2回開催されるこの研修会も、今回で第6回目となりました。在宅医療・介護・福祉に関わる多職種が集まり、より良い在宅環境を提供するために、実践的な知識と技術を習得することを目的とした研修会です。これまで私も企画・運営のお手伝いをしてきましたが、今回は少しさぼりがちでした。それが良かったのか、今回は過去最多の参加者を集め、内容も非常に充実大いに盛り上がりました。

なぜ「食べることは生きること」はこれほどまでに介護者、支援者の関心を引きつけるのでしょうか。それは、おそらく病気などで意思を伝えることが難しくなった際に、「食べることは生きること」が単なる生物学的な行為ではなく、これまでの環境や人生、家族との絆を感じさせるものであり、サポートすべき重要な要素であると理解されているからではないかと考えます。

今年元旦から、上出亮介氏の『ハイパーハードボイルドグルメレポート』を読み、人々の食事を通してその多層的な生き方について考えていました。この作品では、日本で当たり前とはいえない環境で生きる人々の食事を切り口に、文化や生活圏の形成を描き出しています。単なるグルメレポートにとどまらず、「生きる」ことの多面性や、多層的な価値観を浮かび上がらせる一冊です。ぜひ多くの方に読んでいただきたいと思います。

さて研修では、三田市民病院の言語聴覚士の先生、さんだリハビリテーション病院の管理栄養士の先生から、実践的な「食べることは生きること」というテーマのもと、地域の方々を支える訪問看護の実践について具体的な事例を交えながら、病状の理解、ケアの方法、サポートにおける課題などを詳しく解説いただきました。その後のグループワークでは、さまざまな立場の参加者が、「食べることは生きること」をどのように提供し、支えていくかについて話し合い、青木所長が「患者や家族を中心に、チームで話し合うことの大切さ」を強調し、講義を締めくくられました。

また、東京・新宿の訪問看護ステーション七福より、摂食嚥下障害看護認定看護師の青木所長による講義がありました。「食べることは生きること」というテーマのもと、地域の方々を支える訪問看護の実践について具体的な事例を交えながら、病状の理解、ケアの方法、サポートにおける課題などを詳しく解説いただきました。その後のグループワークでは、さまざまな立場の参加者が、「食べることは生きること」をどのように提供し、支えていくかについて話し合い、青木所長が「患者や家族を中心に、チームで話し合うことの大切さ」を強調し、講義を締めくくられました。

今回の研修を通じて、「食べることは生きること」を入口に、当事者と支援者がチームとして連携することが在宅医療において重要であることを再認識しました。今後、三田市においても、より良い「食」を通じたサポート体制が根付いていくことを期待しています。

最後に青木所長は、新宿歌舞伎町のトーヨコキッズという若者の貧困による飢餓と家族へのサポートにも取り組まれています。これが縁で三田からもこうした若者の理解とサポートの輪が広がるきっかけにできたらと思います。



川間 弘美(かわま ひろみ)

皆さまが安心して過ごせますように、少しでもお役に立てればと思います。いろんなお話を聞かせていただけたら嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

趣味 かぎ針編み



佐藤 恵子(さとう けいこ)

社会人を5年経験してから看護師になりました。昨年ケアマネジャーの資格を取得。患者さまやご家族さまの優しい気持ちに触れ、元気をいただいで毎日頑張っています。よろしく願いいたします。

趣味 トレッキング

往診・在宅医療 まんかいホームクリニック

まんかいホームクリニックでは、医療機関への通院が難しい方々に、安心して生活を送っていただくための訪問診療サポートを行っております。今回は往診・訪問診療をご利用いただくまでの流れをご紹介します。



訪問診療の準備



患者さま一人ひとりに合わせて必要な物品を入念にご準備しています。



まるで登山に行くかのような大きなリュックで訪問診療にお伺いしています。このリュックの中には患者さまに合わせてたくさんの物品が入っています。

訪問診療の流れ



お問い合わせ

まずはお気軽にご連絡ください。こんな場合でも訪問診療の対象になるのかな?などでも構いません。お電話で現在の症状や状況をお伺いいたします。



ご相談・ご説明

ご来院またはご自宅にお伺いし、ご本人さま・ご家族さまのご要望はもちろん、訪問診療の仕組みなどについてご説明いたします。これらをご理解いただいた上でご本人さまの診療計画を作成いたします。



訪問診療開始

診療計画に沿って、毎月定期的に医師がご自宅にお伺いいたします。

ご質問・ご相談がございましたら、お気軽にご連絡ください。090-4985-1083 平日 9:00~16:00 担当 平野・片岡